

地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構
令和元年度における業務の実績に関する評価結果

令和2年8月

山形県・酒田市

目

次

1	法人の概要	1
2	評価の実施根拠法	1
3	評価の対象	1
4	評価の趣旨	2
5	評価方法の概要	2
	（1）評価基準	2
	（2）評価の手法	2
6	評価結果	3
	（1）総合的な評定	3
	（2）中期目標期間における財務情報及び人員に関する情報	4
	（3）年度計画の項目毎の評定	
	第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置	4
	第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置	5
	第3 予算（人件費の見積りを含む。）、収支計画及び資金計画	5
	第4 短期借入金の限度額	6
	第5 剰余金の使途	6
	第6 料金に関する事項	6
	第7 その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項	7
	（4）業務運営の改善その他の措置の必要性	7
	地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構令和元年度業務実績に関する評価基準	8
	令和元年度業務実績に関する評価（項目別評価シート）	9

1 法人の概要

- | | | |
|----------|-----|---------------------|
| (1) 法人名等 | 名 称 | 地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構 |
| | 代 表 | 理事長 栗谷 義樹 |
| | 住 所 | 山形県酒田市あきほ町 30 番地 |
- (2) 設立年月日 平成 20 年 4 月 1 日
- (3) 設立団体 山形県及び酒田市
- (4) 資本金の額 187 億 9731 万 29 円 (平成 31 年 3 月 31 日変更)
- (5) 中期目標の期間 平成 28 年度から令和元年度まで (4 年間)
- (6) 目的及び業務

ア 目的

地方独立行政法人法に基づき、医療の提供、医療に関する調査及び研究等を行うことにより、庄内地域等の医療政策として求められる高度専門医療の提供及び当該地域における医療水準の向上を図り、もって住民の健康の維持及び増進に寄与することを目的とする。

イ 業務

- ① 医療の提供に関すること。
- ② 医療に関する調査及び研究に関すること。
- ③ 医療に関する技術者の研修に関すること。
- ④ 医療に関する地域への支援に関すること。
- ⑤ 災害時における医療救護に関すること。
- ⑥ 前各号に掲げる業務に附帯する業務に関すること。

2 評価の実施根拠法

地方独立行政法人法 (平成 15 年法律第 118 号) 第 28 条第 1 項

3 評価の対象

令和元年度における地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構の年度計画に対する実績の状況

※年度計画・・・中期計画に基づき、当該年度における業務運営に関する計画を定めたもの

4 評価の趣旨

地方独立行政法人法の規定に基づき、地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構（以下「病院機構」という。）が、庄内地域の中核病院である日本海総合病院及び日本海酒田リハビリテーション病院並びに日本海八幡クリニック、升田診療所、青沢診療所、松山診療所、地見興屋診療所及び飛島診療所（以下「日本海八幡クリニック等診療所」という。）を運営するにあたり、住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上及び業務運営の効率化等について自主的、継続的な見直し及び改善を促すことを目的に、設立団体である山形県及び酒田市が、令和元年度における病院機構の業務の実績に関し評価を行う。

5 評価方法の概要

(1) 評価基準

地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構令和元年度業務実績に関する評価基準。（別紙のとおり）

(2) 評価の手法

病院機構の自己評価結果及びこれに対する地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構評価委員会の参考意見を聴取し、これらを基に評価する。

【評価委員会】（令和2年8月5日現在）

委員名	氏名	役職等
委員長	上野 義之	山形大学 医学部長
副委員長	八重樫 伸生	東北大学大学院 医学系研究科長 東北大学 医学部長
委員	佐藤 顕	山形県医師会 酒田地区医師会十全堂 会長
委員	佐藤 正一	日本公認会計士協会山形県会 公認会計士佐藤正一事務所 所長
委員	外山 義信	酒田商工会議所 副会頭 東北エプソン株式会社 代表取締役社長
委員	武田 真理子	東北公益文科大学大学院 公益学研究科長 東北公益文科大学 公益学部教授

（敬称略：順不同）

6 評価結果

(1) 総合的な評定

山形県及び酒田市は、病院機構の令和元年度における事業の実績について、総合的には「非常に優れている」ものとして評価する。

日本海総合病院においては、救命救急センターや地域医療支援病院等の指定を受ける地域の中核病院として、専門医を配置するなど、安全で高度かつ専門的な急性期医療が提供された。特に、DPC 特定病院群の適用を維持し、医療の質の向上を図るとともに、地域医療連携推進法人制度を活用した病床融通を行い、地域医療の連携の推進に取り組んでいる。

日本海酒田リハビリテーション病院では、休日を含めたりハビリテーションの実施、通所リハビリテーションの定員増及び訪問リハビリテーションを開始するなど地域のニーズに応じた回復期・慢性期医療が提供された。

日本海八幡クリニック等診療所では、それぞれの地域における唯一の医療機関として、日常的な病気やけが等の患者に一次医療が提供された。訪問看護については、訪問看護ステーションの指定を受け、さらに医療法人宏友会の運営する訪問看護ステーションとの円滑な統合に努め、地域において効率的な訪問看護が提供された。

また、就労環境等の整備においては、医事クラーク、認定看護師等の適所配置、院内保育所の 24 時間保育、病児・病後児保育の継続及び患者ニーズを踏まえた勤務時間帯の見直しなど、スタッフの確保と業務負担軽減への取り組みが積極的に行われた。

さらに、地域医療連携推進法人日本海ヘルスケアネットの中心的役割を担い、地域の医療機関をはじめ、保健、福祉、介護の各機関との連携の推進を図り、効果的な業務運営が行われた。

経営面では、日本海総合病院における診療報酬の算定に関する係数の増加や、手術支援ロボットの導入、薬剤指導の充実などにより、病院機構全体としては、設立初年度から 12 年間連続して黒字決算を計上し、中期計画の目標である経常収支比率 100%以上が引き続き達成され、効率的な運営が行われている。

以上、令和元年度における業務の実績は、引き続き良好であり、病院機構の業務運営に対する努力について、設立団体として非常に高く評価するものである。

評価した項目数

総項目数 98 項目【評価 S : 7、A : 22、B : 69、C : 0、D : 0】

(2) 中期目標期間における財務情報及び人員に関する情報

区 分	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
総収益 (百万円)	20,003	21,322	22,244	22,718
総費用 (百万円)	19,417	20,515	21,500	22,279
純利益 (百万円)	587	808	744	439
常勤職員数 (人)	1,040	1,061	1,104	1,112

※ (3) の項目ごとに算出することが困難であるため、全体の情報を記載。

(3) 年度計画の項目毎の評定

第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

ア 評 定

年度計画に対する実績は概ね計画に合致している。

イ 理 由

病院及び診療所による医療機能の分担と地域医療連携推進法人内での連携等により、効率的かつ効果的な業務運営を図りながら、地域の医療水準の向上に努めている。

ウ 評価した項目

① 項目数 72項目 【評価 S:5、A:20、B:47、C:0、D:0】

② 特筆すべき項目

- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大に備えて病床の確保等、医療提供体制の整備に努めている。
- ・専門医制度において、内科、産婦人科、外科の基幹施設として、専攻医の採用及びプログラムの管理運営を行っている。
- ・他の医療機関との役割分担及び連携により、紹介率・逆紹介率に係る、地域医療支援病院の指定要件を大幅に上回っている。
- ・地域の医療機関等との連携を充実させるため、「地域医療連携推進法人日本海ヘルスケアネット」に参画し、地域フォーミュラの実施など中心的役割を担っている。
- ・入退院支援センターの運用開始により、スムーズな入院体制の構築を図るとともに、入院前から多職種連携による患者のリスク把握及び評価とよりよい入院・治療計画の提供に努めている。

第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

ア 評 定

年度計画に対する実績は概ね計画に合致している。

イ 理 由

- ・診療体制の強化や、診療報酬改定等の変化に迅速に対応するなど、収益の確保に努めている。
- ・それぞれの目標においては、病院及び診療所によって目標値を下回る項目もあるが、法人全体として概ね達成できたものと評価する。

ウ 評価した項目

① 項目数 8項目 【評価 S：0、A：2、B：6、C：0、D：0】

② 特筆すべき項目

- ・日本海総合病院では、1日あたりの入院患者数が目標値を下回ったが、他の目標値に関しては目標を達成している。
- ・日本海酒田リハビリテーション病院では、入院及び外来診療単価については目標を達成している。
- ・新たな施設基準、胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合等）の取得による増収を図っている。

第3 予算（人件費の見積りを含む。）、収支計画及び資金計画

ア 評 定

年度計画に対する実績は概ね計画に合致している。

イ 理 由

日本海総合病院、日本海酒田リハビリテーション病院及び診療所を含む病院機構全体で、営業収支比率と経常収支比率の目標を達成している。

ウ 評価した項目

① 項目数 1項目 【評価 S：0、A：0、B：1、C：0、D：0】

② 特筆すべき項目

病院機構全体で、営業収支比率 102.2%、経常収支比率 102.2%と目標値を上回った。（各目標値 100%）

第4 短期借入金の限度額

ア 評 定

年度計画に対する実績は計画を上回っている。

イ 理 由

短期借入金の実績なし。

ウ 評価した項目

① 項目数 1項目 【評価 S : 1、A : 0、B : 0、C : 0、D : 0】

② 特筆すべき項目

計画的な資金収支に努めたため、短期借入金の必要がなかった。

第5 剰余金の使途

ア 評 定

年度計画に対する実績は計画を上回っている。

イ 理 由

決算剰余金については、建設改良積立金に充当し将来の施設整備及び医療機器の整備に備えている。

ウ 評価した項目

① 項目数 1項目 【評価 S : 1、A : 0、B : 0、C : 0、D : 0】

② 特筆すべき項目

病院施設の整備等に充てるため建設改良積立金に充当している。

第6 料金に関する事項

ア 評 定

年度計画に対する実績は概ね計画に合致している。

イ 理 由

病院機構の規定に基づき料金徴収を行っている。

ウ 評価した項目

① 項目数 2項目 【評価 S : 0、A : 0、B : 2、C : 0、D : 0】

② 特筆すべき項目

病院機構の規定に基づき適切に使用料を徴収している。

第7 その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項

ア 評 定

年度計画に対する実績は概ね計画に合致している。

イ 理 由

職員の就労環境の整備として、認定看護師や専門薬剤師等の資格手当の支給等、職員のモチベーションの向上に努めている。
また、職員一人ひとりがそれぞれの分野で専門知識や能力を十分に発揮できるよう、多職種によるチーム医療の推進に努めている。

ウ 評価した項目

① 項目数 13項目 【評価 S：0、A：0、B：13、C：0、D：0】

② 特筆すべき項目

- ・ 周術期管理チームの発足やカンサーボードの開催等、多職種によるチーム医療の推進に努めている。
- ・ 職員が業務に専念できるよう、院内保育所及び病児・病後児保育事業を継続して実施している。

(4) 業務運営の改善その他の措置の必要性

な し

【別紙】

地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構 令和元年度業務実績に関する評価基準

1 令和元年度業務の実績に関する評価の基本方針

令和元年度地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構年度計画について、その実施状況を調査・分析し、業務の実績について評価を行う。

2 業務の実績に関する評価の方法

計画に掲げた項目ごとに行う「項目別評価」と業務実績全体の状況について行う「全体評価」の2つを併せて行うものとする。

(1) 項目別評価（項目別評価シート）

項目別評価は、年度計画の個別項目毎の進捗状況について、下記により評価するものとする。

- ① 業務の実施状況を幅広く把握し、可能な限り客観的な評価の実施に努める。
 - ・目標数値がある場合はその達成度合い、定性的な目標の場合は具体的な業務実績を把握して評価する。
 - ・業務実績については、その数量だけでなく、その質についても考慮する。
 - ・業務実績に影響を及ぼした要因、予期せぬ事情の変化等についても考慮する。
- ② 判定基準として以下の5段階で評価し、原則としてその理由を付記する。

(判定基準)

「S」：計画を大幅に上回っている

「A」：計画を上回っている

「B」：計画に概ね合致している

「C」：計画をやや下回っている

「D」：計画を下回っており、大幅な改善が必要

(2) 全体評価

全体評価は、(1)の項目別評価の結果を踏まえ、全体的な計画の進行状況や達成について、記述式等により評価するものとする。

令和元年度業務実績に関する評価

(項目別評価シート)